

令和 7 年度

事業者番号	2107	事業所番号	210700
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	埼玉営業所 埼玉MDC	前年度における事業所数	6
代表事業所所在地	市区町村	久喜市	
	字・地番	菖蒲町三箇6201-6	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	47 倉庫業		
分類番号(中分類)	47		
事業活動の概要	事業内容：在庫管理、受発注管理、流通加工、 物流センター運営、輸配送など物流業務		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排出量		t-CO ₂	基準となる 原単位	0.0216 t-CO ₂ /m ²
	平成27～31年度の原単位を基準(0.0216t-CO ₂ /m ²)として、令和6年度末までに5%低減します。					
削減目標	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排出量		t-CO ₂	基準となる 原単位	0.0059 t-CO ₂ /m ²
	令和6年度の原単位を基準(0.0059t-CO ₂ /m ²)として、令和11年度末までに10%低減します。					
削減目標	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	埼玉営業所 埼玉MDC	久喜市菖蒲町三箇6201-6
2	埼玉PFC営業所 東日本PFC	加須市南篠崎1-5-1
3	埼玉北営業所 III期物流センター	加須市南篠崎1-2-1
4	埼玉北営業所 第二MDC	埼玉県加須市北大桑152-1
5	埼玉営業所 MFLP久喜	埼玉県久喜市清久町1-10
6	東関東営業部 春日部物流センター	春日部市南栄町3 ランドポート春日部
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,734	1,950	2,085	2,071	2,124

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	基準	計画期間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂		3,336	3,752	4,012	1,303	1,315
前年度比 (%)		—	12.5	6.9	-67.5	0.9
基準となる排出量に対する 削減率 (%)						
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		3,336	3,752	4,012	1,303	1,315

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	基準	計画期間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.0216	0.0197	0.0186	0.0181	0.0059	0.0059
前年度比 (%)		—	-5.7	-2.9	-67.5	0.9
基準となる原単位に対する削減率 (%)		8.8	14.0	16.4	72.9	72.6
活動規模の指標単位						
床面積	m ²	169,275.50	201,866.20	222,266.80	222,286.80	222,286.80

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	三芳トランクヴィラ閉鎖(19年度)と機工統括部大宮事務所の移転(20年8月)による減少と、春日部物流センターの業容拡大による使用量増加。
令和3年度 (2021年度)	埼玉北PFCの照明LED化による削減と埼玉北第二MDC開設による増加。
令和4年度 (2022年度)	県外拠点の被災に伴う埼玉北第二MDC物量増加と埼玉北MF L P久喜開設及び埼玉北Ⅲ期の新規顧客用保冷库設置による増加。
令和5年度 (2023年度)	各事業所共 節電推進 及び 作業物量減による減少。 再生エネルギー利用によるCO2排出量減少 (東電EP/グリーンベーシックプランRE20を4拠点にて採用)
令和6年度 (2024年度)	各事業所共 節電推進 及び 再生エネルギー利用継続(東電EP/グリーンベーシックプランRE20を4拠点にて継続)によるCO2排出量減少を図るも、夏場の気温上昇影響により対前年度ほぼ横ばいで推移。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	環境研修の定期開催(2回/年) ・従業員対象・地球温暖化対応他 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	月次エネルギー使用量を把握 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	
3	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	電力使用状況監視によるピーク電力抑止 ・契約電力500kwh以上の拠点 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	
4	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	室温の規定値順守 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	過剰照明灯の取り外し ・過剰照度の適正化 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	
6	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	再生可能エネルギー利用推進 (東電EP/グリーンベシックプランRE20)	R5	R5	
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

